

令和元年度東葛北部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議開催結果

1 日 時 令和元年11月21日（木） 午後1時30分から午後3時10分まで

2 場 所 東葛飾合同庁舎6階 第1会議室

3 出席者 委員 21名

東委員、鈴木委員、岩部委員、金本委員、長瀬委員、鏑木委員、
佐藤委員、烏谷委員、野坂委員、秋葉委員、小張委員、小林幸男委員、
高橋委員、小林千昭委員、入江委員、伊原委員、根本委員、岡田委員、
宮島委員、新委員、山崎委員

4 議 事

- (1) 千葉県保健医療計画の一部改定について
- (2) 2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針と施設整備に対する財政支援制度について

5 報 告

- (1) 小委員会の結果概要について
- (2) 地域医療介護総合確保基金による各種事業の実施状況について

6 その他

介護保険事業（支援）計画の進捗状況等について

7 議事及び報告概要

あいさつ

○センター長

本日は、お忙しい中、本会議に御出席いただきありがとうございます。

皆様には日ごろから、東葛北部の保健医療の推進に御尽力をいただくとともに、各健康福祉センター・保健所で実施します各種事業にも、御理解、御協力を賜り心よりお礼申し上げます。

本会議は、保健医療計画を踏まえ圏域の体制について検討する地域保健医療連携会議と地域医療構想推進のための情報共有の場としての地域医療構想調整会議の2つの機能を有する会議となっており、今年度 第1回目の全体会議となっております。

なお、昨年度から小委員会の設置が認められました。この小委員会は、全医療機関が参加する本会議の前に開催し、より詳細な議論を行うことで論点をまとめ、本会議において有意義な情報共有を図り、議論の活性化を図ることを目的としております。全体会議に先立ち、小委員会が7月31日に開催されております。

今回の小委員会では、昨年度の全体会議において出されたいくつかの検討項目のうち、在宅医療を含めた地域の課題、小児周産期医療体制の充実について、地域の疾病

構造の分析の3項目について議題とし、議論いただきました。詳細については、この後の会議で報告いただく予定です。

小委員会と全体会議が、相互に開催され、議事の内容を深めていければと考えております。本会議において、皆様から小委員会への御意見もよろしくお願いいたします。

議事(1) 千葉県保健医療計画の一部改定について

※事務局から資料1-1~1-2を説明後、質疑応答を実施した。

○委員

資料1-1の23ページ 表2-(7)-1で、小児科、産婦人科、つまり周産期の手薄なところをなんとかするというのはよくわかるのですが、それはもちろん賛同なのですが、この表を見ますと、今すごく患者さんが増えているメンタルなところ、精神科、心療内科がやっぱり薄い。それと今、結核も若干対応しないといけない病院が閉じているというのもあったりしますけれども、そういうところの考えはないのでしょうか。

○事務局

診療科には、精神科も含めていろいろあります。この外来医療計画を策定するにあたり、これは計画の一部ということにはなっているのですが、一般的な計画でいう、例えば指標や数値目標を作ったりとか、そういったものと外来医療計画は違っております。まずは実態を調査させていただいた上で、そのデータを、こういう場で共通認識を持っていただくところもひとつの目的となっております。

今、先生から御意見のありましたところも含めまして、現状把握した上で、どういう形で進めていくか検討していきたいと考えています。

○参加者

メンタルの問題を抱えるお母さんたちというのは非常に増えているのが実感でありまして、そこは精神科との連携を強化するということを、今、千葉県の方でも周産期メンタルヘルスの学会を開いたりしながら、連携強化に取り組んでいるところでして、そういったことを指標の中に考えていただきたいということを追加でコメントさせていただきます。

もう一点、少子化が進んできていることで、分娩数が90万を切るのではないかと、いう状況もありますので、そういう動向も踏まえ、うえでの医師不足の対応を検討いただければと思います。

○事務局

御意見ありがとうございます。参考にさせていただければと思っています。

議事(2) 2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針と施設整備に対する財政支援制度について

※事務局から資料2-1、2-2を説明後、質疑応答を実施した。

○委員

資料2-1の3ページ 2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針のスライドの真ん中に黒字、太字で書いている「合意を得た」という文言について、先ほど説明がなかったので、もっと具体的に説明いただけますでしょうか。

○事務局

国の通知で合意と書いているのですけれども、県といたしましては、各医療機関の2025年に向けた状況、考え方を一覧表にして情報共有をさせていただくということがひとつ、その内容に質問なり疑義があればそこを御確認いただくということが、現状考えているところでございます。

○委員

調整会議で何か合意を得るというかたちではないですよ。そのデータを共有して議論するという、そういうレベルの話でよろしいですか。

○事務局

調整会議は決定権を持つ会議ではございませんので、あくまでも各医療機関の方針をみなさんで御理解いただくというのが、基本的な考え方でございます。

報告(1) 小委員会の結果概要について

※小委員会 東委員長(松戸市医師会長)から資料3-1により報告があった。

また、今回は令和2年1月30日に「小規模病院との意見交換」、「小児周産期医療体制の充実」の2つを議題として開催予定である旨の報告があった。

併せて、この地域で在宅医療の取り組みを先進的に進めている柏市の梅澤地域医療推進課長から資料3-2、小児・子育て世代の人口が増加している流山市の伊原健康増進課長から資料3-3によりそれぞれ説明があった。

また、5医師会と5市で検討を進めている災害医療について、柏市医師会 松倉副会長から資料3-4により情報提供があった。報告後、質疑応答を実施した。

質疑なし

報告(2) 地域医療介護総合確保基金による各種事業の実施状況について

※事務局から資料4を報告後、質疑応答を実施した。

質疑なし

その他 介護保険事業（支援）計画の進捗状況等について
※事務局から資料５－１、５－２を報告した。